

# こどもの 心を 大切に

適切な言葉選びのためのヒント



## はじめに

---

みなさんご承知のとおり、令和6年4月の改正児童福祉法施行により「こどもの意見表明の制度」がはじまりました。

乳児院で生活する子どもたちのように、まだ月齢も低くことばの未発達な子どもたちは、笑うことや泣くことや指差しあるいは表情など、わずかな仕草により傍にいる大人（職員）にさまざまな問いかけをしてきます。

若い職員も中堅職員もまたベテラン職員も、こどものさまざまな意向に悩みつつ汲み取る代弁者（アドボケイト）役もこなしながら、日々忙しく業務に当たっていることと思います。私たちは、こどもを大切に思い、愛情のこもった言葉がけやスキンシップにより、子どもたちと職員みんながともに成長していくことを願っています。

本リーフレットは総務委員会における「こどもの権利擁護」とは？、また「こどもの養育の質を高める」にはどうすればよいのか？といった話題から生まれました。

どうか各乳児院の日々の養育のなかで、また自己チェックとして活用いただけたら幸いです。

全国乳児福祉協議会 総務委員会

## 使い方

このリーフレットは「①カテゴリー」「②気をつけたい言葉がけ」「③気をつけるべき理由」「④言い換えとそのポイント」「⑤自由に書き込めるメモ欄」の5つで構成されています。

①

②

③

④

⑤

● 子どもの尊厳

### ニックネーム呼び、呼びすて

なぜ気をつけないといけないの？  
名前は生まれたときに保護者が将来に向けての願いをこめてつけた子どもへの愛情の証のようなものです。特に乳児院にやってくる子どもにとっては、名前が唯一の親とのつながり…、という場合もあるでしょう。それくらい大切なものです。  
子どもが自分の名前を自覚しにくくなったり、呼び方によっては人権侵害になったり、保護者の合意がないとトラブルの原因になるときもあります。

代わりに…  
**子どもの名前に「くん」「さん」等**  
名前に敬称をつける言い方はどうでしょうか？

● 自分なら何て言おう？

4

## ニックネーム呼び、呼びすて

### なぜ気をつけないといけないの？

名前は生まれたときに保護者が将来に向けての願いをこめてつけたこどもへの愛情の証のようなものです。特に乳児院にやってくるこどもにとっては、名前が唯一の親とのつながり…、という場合もあるでしょう。それくらい大切なものです。

こどもが自分の名前を自覚しにくくなったり、呼び方によっては人権侵害になったり、保護者の合意がないとトラブルの原因になるときもあります。

### 代わりに…

#### こどもの名前に「くん」「さん」等

名前に敬称をつける言い方はどうでしょうか？

- 自分なら何て言おう？



●  
こどもに  
不安を与える言葉



## 「置いてっちゃうよ」「もう知らない」

### なぜ気をつけないといけないの？

こどもに「置いていかれるかもしれない」という不安や悲しい気持ちを与え、恐怖によって、大人の望む行動を強制してしまうかもしれません。

こどもは自分が見放されたような気持ちになるでしょうし、私たちが育みたい自尊心を傷つけることになりませんか？

### 代わりに…

### 「あと何回で帰ろうね」等

あらかじめ見通しを立ててあげる言い方はどうでしょうか？

● 自分なら何て言おう？

こどもにも  
命令する言葉



## 「早くしなさい」

### なぜ気をつけないといけないの？

こどもの発達や、その子のペースを考慮できていますか？なぜ早くしないといけないのでしょうか。大人の都合でせかしていませんか。また強い口調は恐怖心を与えてしまうので、こども自身が考えて行動することができなくなるかもしれません。

### 代わりに…

「ここで待ってるね。あわてなくていいよ」

「そろそろ行きたいな～」「○○までにできるかな」等

個々に合わせた言い方を考えてみませんか？

- 自分なら何て言おう？

こどもに  
命令する言葉



## 「やめなさい」

### なぜ気をつけないといけないの？

強い口調はこどもに恐怖心を与え、一時的にはやめるかもしれませんが、理由がわかっていないので同じことを繰り返すかもしれません。それに大人同士では「やめなさい」と命令しませんよね。

### 代わりに…

「〇〇だから危ないよ」

「それは危ないね、痛い痛いになったらどうしよう。」等

こどもを対等な存在として認め、自身で考えて行動できるように促しませんか？

● 自分なら何て言おう？

こどもにも  
命令する言葉



## 「いいかげんにして」

### なぜ気をつけないといけないの？

こどもの発達や、その子のペースを考慮できていますか？言われたこどもは不安や恐怖心から一時的にその行動をやめるかもしれません。ただ「いいかげん」というあいまいな表現では、なぜそれがいけないのか伝わらず、同じことを繰り返すかもしれません。

### 代わりに…

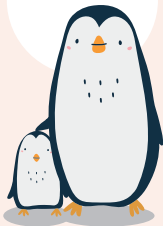
「もっとやりたかったね」「こっちのほうがおもしろそうよ」

「今は〇〇しようね」「〇〇してみてもはどう？」等

自然と関心や興味がうつるよう促す言い方を考えてみませんか？

- 自分なら何て言おう？

●  
ほかの子と  
比較する言葉



## 「○○さんはできるよ」 「○○くんだけだよ○○なの」

### なぜ気をつけないといけないの？

乳幼児は発達の特徴と個性により上手にできないこともたくさんあります。他児との比較はこどもの自己肯定感を阻害する原因になります。その比較は大人のものさしで見ているから言葉として出てきていませんか？

### 代わりに…

比較はマイナスのイメージをこどもが抱いてしまうので、

「よくがんばったね」「だんだん上手になってきたね」等

プロセスや上達を認め、褒めることで向上心を育む言い方を考えてみませんか？

● 自分なら何て言おう？



## 「鬼・おばけがくるよ」

### なぜ気をつけないといけないの？

こどもの危機感や恐怖心をあおり、行動を強要するかかわり（脅し）です。その場しのぎの言葉では、よりよい解決方法とはいえません。同じシチュエーションでまた同じことを言うことになってしまいます。

### 代わりに…

例：夜なのに公園に行きたいと言うとき

「暗くてよく見えないから危ないよ」

例：ふざけて玩具で大きな音を鳴らし続けているとき

「何度もびっくりしたからやめようね」等

理由の説明で行動が変化できるように言い方を考えてみませんか？

- 自分なら何て言おう？

● こどもを脅す言葉



## 「食べないなら下げちゃうよ」 「○○しないと、○○できないよ」

### なぜ気をつけないといけないの？

時間に追われ、こどもが自分で食べようとする意欲をなくしてしまっていないですか。こどもに罰を与えて行動を強要するかかわり（脅し）になります。また、こどもがやりたいこと・好きなことと引き換えに行動を促すのは、無理強いをすることになります。

### 代わりに…

「○○したら△△しようね」「一緒に○○やろうね」等  
こどものやる気を育てる言い方を考えてみませんか？

- 自分なら何て言おう？

## 「食べ物をこぼさないで」

### なぜ気をつけないといけないの？

きれいに食べることを求めるあまり、こぼすたびに叱りながら食べさせることはありませんか。他児がいる前でこぼしたことを指摘する、怒った顔で食べさせ無理強いするとこどもの楽しい食事場면을奪ってしまいます。食事をする時間が苦痛になり、食べることへの興味を失ってしまうかもしれません。そもそも、食事の時こぼしてはいけないのか？ 今、目の前のこどもの将来を想像し、どうかかわるか考えるのが私たちの専門性ではないでしょうか？

### 代わりに…

「(お茶碗を) しっかり持とうね」「上手にスプーンを使えたね」等  
小さい子にも理由を説明しつつ楽しい食事の時間にしませんか？

- 自分なら何て言おう？



●  
こどもを  
否定する言葉



## 「〇〇さん、もらいます」

### なぜ気をつけないといけないの？

忙しさのあまり、つい出てしまう言葉かもしれませんが、こどもは物ではありませんよね。人として大人と対等な存在として受け止められていますか？  
また、大人にだけ伝えるのではなく、こどもが別の場所・大人のもとに行くことをよいと思っているのか気持ちを聞くことが人権の尊重のうえで大切です。

### 代わりに…

「私と一緒にでもいい？」と最初にこどもに聞いた後、

「〇〇くんとこっちで関わりますね」「私が変わります」等  
こどもの人権を尊重し大切にする言い方を考えてみませんか？

● 自分なら何て言おう？



## 「うるさい」「こら」「もう」「しつこい」

### なぜ気をつけないといけないの？

こどもが強く繰り返し訴えてくるには何か理由があります。また、これらの言葉は存在を否定する言葉にもなりますので、とっさに言ってしまわないよう注意しましょう。

### 代わりに…

「うるさい」ではなく

**「優しい声でも聞こえるよ」「びっくりするから小さな声でね」**等

「こら」「もう」ではなく

**「〇〇したかったんだね」「〇〇と思ったんだね」**等

共感し気持ちをくみ取ったことを伝える言い方を考えてみませんか？

● 自分なら何て言おう？

## 「あとで」「我慢して」

こどもの気持ちを  
置き去りにした言葉

### なぜ気をつけないといけないの？

こどもの気持ちが置き去りにされていませんか。その子はこれまでたくさん我慢してきたかもしれません。「こどもが真ん中」ではなく、周りの大人の都合による一方的なその場しのぎの言葉になっていませんか。

### 代わりに…

「○○が終わるまで待ってね」「順番にやっているからね」等

小さい子にも理由を説明しましょう。そしてその約束は守りましょう。

● 自分なら何て言おう？



## おわりに

---

こどもの成長発達にはその育つ環境が大きく影響します。  
乳児院は、さまざまな専門職が協力して養育が行われている  
環境であるからこそ、質の高い支援のチームプレーが叶えら  
れます。

今後もどうか愛情豊かにこどもの笑顔を増やし、また職員  
同士のコミュニケーションもしっかりと取って「こどもたち  
の心とからだを育てて欲しい」と願っています。

発行者：社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国乳児福祉協議会

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-6503 FAX 03-3581-6509

発行日：令和7年3月

編集：全国乳児福祉協議会 総務委員会

